

『支え合うまちづくり通信』 第2号

発行:朝陽地区生活支援コーディネーター

原山
ネー
タ一
です
の
コ
生
活
支
援

第3回住民意見交換会 参加者募集!

平成30年1月20日(土)9:30~12:30

農協長野平南支所2階(朝陽小向かい)

第2回開催結果は裏
面をご覧ください!

主催:朝陽地区住民自治協議会、朝陽地区社会福祉協議会

★参加申込方法!初参加歓迎!★

電話、FAX、メールまたは来所により、氏名、年齢(年代でも可)、性別、住所、連絡先(電話、FAX、メール)、職業(任意)を、下記連絡先にご連絡ください。

※参加できるのは、原則、朝陽地区にお住まい、又は、お勤めの方です。年齢は問いません。

◆「支え合うまちづくり」と「住民意見交換会」って?

「支え合い」というと、高齢者の話になりがちですが、『支え合うまちづくり』は、赤ちゃんからお年寄りまで、そこで暮らす全てのみなさんのお話です。

今後、少子高齢化が進むと、担い手不足など、今以上に、深刻な問題が出てきます。これからは、自分が出来ることは自分で、出来ないことは助けてもらい、自分もちょっと人の手助けをし、お互いが支え合いながら生活する社会をつくっていく必要があります。

そこで、住民のみなさんや、事業者・専門家等のみなさんと、どんな支え合いの活動が必要か、どうやって創りしていくのか、どんな仕組みが必要なのかなど、一緒に考えていくため、先ずは、住民意見交換会を開催しています。

住民意見交換会では、講師先生のお話を聴きした後、グループ(区単位)に分かれて、自由に意見を出し合ってみんなで考えています。

◆第1回目 地域で必要だと思う助け合いの活動、それを実現するために自分が出来る協力、ほかに誰の協力が必要かを考えました。
(H29.11.11)

◆第2回目 最も必要だと思う活動を選び、住民が望む活動と合っているか把握する方法や、その活動を創り出すために誰の協力が必要か考えました。
(H29.12.3)

◆第3回目 必要だと思う活動をどうやって創り出すのか、どうやって担い手を発掘するのか、その仕組みも含めて考えます。
(H30.1.20)

◆住民意見交換会終了後は?

区単位で協議体を作り、住民意見交換会で出た意見を基に、各区で必要な活動を創ります。また、朝陽地区としても協議体を作り、全体で必要な活動を創ります。

【連絡先・お申込み先】

朝陽地区住民自治協議会 生活支援コーディネーター(地域福祉ワーカー) 原山
〒381-0014 長野市大字北尾張部226-9 電話/FAX:213-6170
E-mail:j-asahi1906@orion.ocn.ne.jp ホームページ:<http://asahi-jk.jp>

第2回住民意見交換会を開催しました！

さわやか福祉財団の高橋望先生にお話をうかがって…



高橋先生！

介護保険等の各種制度では、支えてもらえないお困りごとが日常生活には沢山あります。それを地域で考えて助け合い、「今日楽しかったな」と思って暮らしていけるようにするのが、支え合うまちづくりです。その推進のため、各地区に生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）がいます。でも一人では限界があるので、仲間を増やし、協議体というチームで取り組んでいく必要があるんです。

今日のようなワークショップをもっと広げて、地域に情報を発信して、担い手の発掘をします。これ、とても難しいんですが、地道に取り組むことで、意外と手が上がります。そうやって、自然に「助けて」と言える朝陽地区を作っていきましょう。

グループ(各区)に分かれて話し合いをしました！

第1回目で出た「地域で必要な活動」の中から、最も必要だと思う活動を選び、ニーズの把握のためにどんなことをするか等、その活動について考えました。その一部を紹介します。

◆南屋島区・・・最も必要だと思う活動『集いの場づくり』

【どんなことを？】配り物の手渡し・会話。簡単なスポーツ。ボランティア活動。野菜作りのノウハウを広げる場。囲碁将棋・謡い。長寿会の若返り。お茶のみサロン・お花見サロン。

◆北屋島区・・・最も必要だと思う活動『居場所づくり⇒長寿会の活性化』

【どんなことを？】若者との交流。育成会との交流を増やす。参加しやすい名称への変更「ニコニコ笑楽交（しょうがっこく）」。

◆北長池区・・・最も必要だと思う活動『コミュニケーションの場作り』

【どんなことを？】クリスマス会。夕食会。子供食堂。酒。ラジオ体操。

◆北尾張部区・・・最も必要だと思う活動『雪かき』

【どんなことを？】除雪してほしいお宅・除雪エリアの把握。凍結防止剤散布。近所の未除雪場所・玄関先から道路までの宅内通路・歩道・通学路の除雪。除雪機の導入検討。

◆石渡区・・・最も必要だと思う活動『日頃の声かけ（おつきあい）』

【どんなことを？】常会・組で何でも言い合える関係作り。ウォーキング・犬の散歩・ゴミ出しでの挨拶。子供たちと挨拶。回覧版は顔を見て渡す。集まる場を増やす。行事への参加。新しい形の社交（おつきあい）を模索。区民に伝える・広める。助けられ下手をなくす。

◆南堀区・・・最も必要だと思追う活動『お互いに迷惑をかけあいましょう！』

【どんなことを？】通学路等で挨拶。隣同士のおつきあい。顔見知りになる・増やす。見守り隊。支える側を多く。地域が帯状に長いので3ヶ所お茶のみサロンを作る。サロン情報の提供。サロンの目的作り。体操教室。ワクワクする集まり。ケアハウスあさひの開放。

◆北堀区・・・最も必要だと思う活動『みんなのつながりと居場所』

【各種会議での浸透】地域でのワークショップ開催。各種会議で周知・話し合い。

【現状出来る事】育成会で助け合い体験カードゲーム（子供の力）。育成会でのニーズ把握。自分から知人に声を掛けて誘う。介護者など経験者の声を聴く場を設ける。アンケート実施。

◆桜新町区・・・最も必要だと思う活動『雪かきと空家対策』

【どんなことを？】《雪かき》隣近所の協力。アンケートでの要除雪者把握。除雪機購入。業務委託。ゴミ捨場通路除雪。融雪剤配布。除雪隊。《空家対策》アメシロ・草木繁茂の対応。持主確認・立入許可承諾依頼。持主による対策依頼。※無断立入は罪（大豆島交番）